上級者☆問題

1．幸せな結婚をするために必要なことは何ですか。次の中から正しいものをひとつ選びなさい。

A）　20代は人生の中でも情熱や体力に満ち満ちている時期なので、20代の間にハッピータイミングをつかむ努力をする必要がある。

B）　この時期に結婚するのが一番幸せと誰もが納得する“結婚適齢期”を逃さないよう、人生を共にするパートナー選びに20代のエネルギーを費やさなければならない。

C）　結婚以外にも幸せで生き生きする状況は必ずあるので、今、自分に必要なことは何なのかを考えて、それに向かってとりあえず前に進むようにする。

D）　自分はどんな結婚を求めていて、どんな相手と歩いていきたいのかを考えて、悩み、迷いながら結婚のハッピータイミングをボーっと待つしかない。

2．この記事の中に「急がば、回れ」という諺が出てきますが、これはどういう意図で使われていますか。次の中から正しいものをひとつ選びなさい。

A）　急いで結婚を考えると、自分が本当に求めている人生やパートナーに出会えなくなるので、回り道をするように時間をかけて、もっと多くの人と対話して、色々な人生を見つめると、早く運命の出会いまでウジウジ悩むことなく待つことができる。

B）　晩婚は出産や子育てなどを考えると、早婚に比べてかなりリスクが大きいので、ジタバタしてでも、運命の神様に微笑んでもらえるように走り回ってベストパートナーを探すべきである。

C）　最良の出会いを経て、ベストパートナーと一緒になる日は誰にもわからないので、結婚を焦る

のではなく、逆に時間をかけて自分を見つめ、どんな将来を望んでいるのかなど、じっくり時間

をかけて考えると、以外とすぐに運命の出会いがやってる。

D）　結婚を急いでいても、相手がいなければ話にならないので、ベストパートナーやハッピータ

イミングを掴めるよう、常に回りに気を配り、世間の尺度ではない自分にとってのいい人を探す

と、早く結婚相手にめぐり会えるはずである。

３．次の文章のうち、本文の内容と同じものを次の中から選びなさい。

A）　現代の日本人女性は仕事や夢にエネルギーを費やしているので、たとえ交際している相手がい

ても、なかなか結婚に踏み切れないという状況である。

B）　結婚は20代を生きていく上で大きな選択肢となるので、結婚適齢期での結婚を逃すことのな

いように毎日少しずつ自分自身を知って日々素敵になるよう努める必要がある。

C）　早婚と晩婚、どちらが女性の人生にとって幸せかという答えは、結婚適齢期がそれぞれの国

の事情によって異なるので、一概にいつとは言えない。

D）　早婚の人も晩婚の人もしっかり自分と向き合って、自分が今後どのような人生を送りたいのか

イメージできるようにしておくことがとても大切である。